

2026年度

大学院学生募集要項

環境経営研究科修士課程
環境学専攻 経営学専攻

一 般 入 試
社 会 人 入 試
外国人留学生入試

公立鳥取環境大学大学院

目 次

1. アドミッション、カリキュラム、ディプロマポリシー・・・・・・・・・・	1
2. 入試概要・・・・・・・・・・	3
3. 出願手続・・・・・・・・・・	4
4. 一般入試・・・・・・・・・・	6
5. 社会人入試・・・・・・・・・・	9
6. 外国人留学生入試・・・・・・・・・・	11
7. 受験上の注意事項・・・・・・・・・・	13
8. 入学手続及び入学後の支援制度について・・・・・・・・・・	15
9. 研究科の概要・・・・・・・・・・	17
その他	
・公立鳥取環境大学へのアクセス・・・・・・・・・・	20

※自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等による不測の事態により、試験期日や選抜方法等を急遽変更する場合があります。
その場合は本学ホームページに掲載しますので、出願・受験前に必ず確認してください。

個人情報の取扱いについて

本学では、出願、受験の過程において収集した個人情報について以下のとおり取り扱います。

- ①入学者選抜を通じて取得した個人情報(氏名、生年月日、性別その他の個人情報等)については、(1)入学者選抜(出願処理、選抜実施)、(2)合格発表、(3)入学手続、(4)これらに付随する業務を行うために利用します。
- ②入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入試成績の一部または全部を、個人が特定できない形に処理した上で、本学における入学者選抜に関する調査研究、分析及び広報活動等の業務に利用する場合があります。
- ③各種業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という)において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、取得した個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- ④入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の(1)教務関係(学籍、修学指導等)、(2)学生支援関係(健康管理、就職支援、奨学金申請等)、(3)授業料徴収に関する業務を行うために利用します

1. アドミッション、カリキュラム、ディプロマポリシー

【環境経営研究科】

目的

1. 公立鳥取環境大学の人材養成の基本理念は、「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成です。本研究科は環境学および経営学の両面から環境問題にアプローチする高度な教育を行うことによって、「人と社会と自然との共生」に基づく持続的社会の構築を追求し実現できる高度専門職業人を育成します。
2. この高度専門職業人の育成過程をとおして、各々の専攻の専門分野を軸に、環境問題に対し、自然科学的視点および社会科学的視点の双方から対応できる能力を養成します。

アドミッションポリシー

環境問題や経営問題等々に強い関心を有している者で、持続可能な社会の実現に向けて提案・行動する意欲および基礎的能力を有する人材を求めます。
これらの能力等についての評価は、口頭試問および筆記試験の結果、志望理由書などを総合して行います。

カリキュラムポリシー

環境経営研究科の教育目標は、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる、各専攻分野を軸とした高度な知識と実践力を身につけることです。

- そのために、以下の科目群・特別研究を設置しています。
- ・環境学的視点から経営問題に、および経営学的視点から環境問題に、それぞれ接近するための知識体系を扱う「環境経営科目群」
 - ・環境学分野の高度な知識と実践力を養う「自然環境科目群」「資源循環科目群」「人間環境科目群」「特別研究」（環境学専攻）
 - ・経営学分野の高度な知識と実践力を養う「企業経営科目群」「地域経営科目群」「経営情報科目群」「特別研究」（経営学専攻）

ディプロマポリシー

修士（環境学）学位あるいは修士（経営学）学位は、環境問題や経営問題の全体像を理解し、各々の専攻の専門分野を軸に、環境問題に対し、自然科学的視点および社会科学的視点の双方から対応できる能力を身につけた者に授与されます。

学位が授与されるためには、本大学院の定める期間在学し、規定年限内に所定の授業科目を履修して単位を取得するとともに、修士論文の審査に合格し、上記の能力の修得が認められることが必要です。

修了生は、高度専門職業人として、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現に貢献することが期待されます。

【環境学専攻】

目的

1. 「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる環境学分野の高度な知識と実践力を身につけた、高度職業専門人を育成します。
2. 環境問題と経営問題の解決に求められる「経営からの環境の見方」、「持続可能な生態系の在り方」、「持続可能なエネルギーや物質のマネジメントの在り方」、「持続可能な人工的構造物の在り方」について、高度な知識と実践力を養成します。

アドミッションポリシー

「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現を展望し、環境問題と経営問題に強い関心を有し、基礎的学力を備えている者で、特に環境分野の高度な知識と実践力を身につける意欲のある人材を求めます。

これらの能力等についての評価は、口頭試問および筆記試験の結果、志望理由書などを総合して行います。

カリキュラムポリシー

環境学専攻の教育目標は、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる環境学分野の高度な知識と実践力を身につけることです。

そのために以下の科目群・特別研究を設置し、これらによって環境学分野の高度な知識と実践力を養います。

- ・環境学的視点から経営問題に、および経営学的視点から環境問題に、それぞれ接近するための知識体系を扱う「環境経営科目群」
- ・持続可能な生態系の在り方や保全対策の理論・手法について学ぶ「自然環境科目群」
- ・持続可能なエネルギーや物質のマネジメントの在り方や技術開発について学ぶ「資源循環科目群」
- ・持続可能な人工的構造物の在り方について学ぶ「人間環境科目群」
- ・「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のために取り組むべき環境・経営問題を自ら設定し探究するための「特別演習・特別研究」

ディプロマポリシー

修士（環境学）学位は、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる環境学分野の高度な知識と実践力を身につけた者に授与されます。

学位授与のためには、本大学院の定める期間在学し、規定年限内に所定の授業科目を履修して単位を取得するとともに、修士論文の審査に合格し、上記の能力の修得が認められることが必要です。

修了生は、高度専門職業人として、「人と社会と自然との共生」に基づく持続的な社会の実現に貢献することが期待されます。

【経営学専攻】

目的

1. 「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる経営学分野の高度な知識と実践力を身につけた、高度職業専門人を育成します。
2. 環境問題と経営問題の解決に求められる、環境経営、企業経営、地域経営、経営情報からなる経営学分野の高度な知識と実践力を養成します。

アドミッションポリシー

「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現を展望し、環境問題と経営問題に強い関心を有し、基礎的学力を備えている者で、特に経営学分野の高度な知識と実践力を身につける意欲のある人材を求めます。

これらの能力等についての評価は、口頭試問および筆記試験の結果、志望理由書などを総合して行います。

カリキュラムポリシー

経営学専攻の教育目標は、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる経営学分野の高度な知識と実践力を身につけることです。

そのために以下の科目群・特別研究を設置し、これらによって経営学分野の高度な知識と実践力を養います。

- ・経営学的視点から環境問題に、および環境学的視点から経営問題に、それぞれ接近するための知識体系を扱う「環境経営科目群」
- ・経営学の基幹的知識体系を扱う「企業経営科目群」
- ・経営学的視点から地域問題（国際関係も含む）に接近するための知識体系を扱う「地域経営科目群」
- ・情報技術から経営問題に接近するための知識体系を扱う「経営情報科目群」
- ・「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のために取り組むべき環境・経営問題を自ら設定し探究するための「特別研究1・2」

ディプロマポリシー

修士（経営学）学位は、「人と社会と自然との共生」に基づく持続可能な社会の実現のため、環境問題と経営問題の全体像を理解し、それら問題の解決に求められる経営学分野の高度な知識と実践力を身につけた者に授与されます。

学位授与のためには、本大学院の定める期間在学し、規定年限内に所定の授業科目を履修して単位を取得するとともに、修士論文の審査に合格し、上記の能力の修得が認められることが必要です。

修了生は、高度専門職業人として、「人と社会と自然との共生」に基づく持続的な社会の実現に貢献することが期待されます。

2. 入試概要

1. 入学定員

研 究 科	専 攻	入学定員
環境経営研究科	環境学専攻	10名
	経営学専攻	5 名
	計	15名

2. 入学試験実施方法等

一般入試のほか社会人及び外国人留学生のための特別入試を実施します。いずれも試験日程は同じですが、出願資格、出願書類等が異なりますので、それぞれの項目を見て出願してください。

なお、入試区分に関わらず、指導教員とのマッチングのため、出願する前に必ず入試広報課に相談してください。また、マッチングは、原則出願登録期間の開始までに完了させてください。

【問い合わせ先】

公立鳥取環境大学 入試広報課 電話：0857-38-6720

※受付時間 午前9時から午後5時まで

(土曜日・日曜日・祝日を除く)

3. 入学試験日程等

	1 期	2 期
募 集 人 員	環境学専攻 10名 経営学専攻 5 名	環境学専攻 若干名 経営学専攻 若干名
出 願 登 録 期 間	2025年8月19日（火） ～8月27日（水）	2026年1月9日（金） ～1月20日（火）
入学検定料払込期間	出願登録期間内	出願登録期間内
出願書類郵送締切日	2025年8月27日（水） 消印有効	2026年1月20日（火） 消印有効
試 験 日	2025年9月11日（木）	2026年2月12日（木）
合 格 発 表	2025年9月24日（水）	2026年2月16日（月）
入 学 手 続 締 切 日	2025年10月6日（月） 必着	2026年2月27日（金） 必着

※出願手続きは①出願登録・②入学検定料の支払・③出願書類の提出によって完了します。
(①②③のいずれかが行われなかった場合は出願が受け付けられません。)

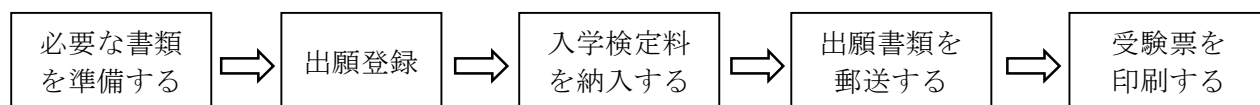
【注1】①の期限を過ぎると、入学検定料の支払いができません。必ず期間内に支払いを済ませてください。

【注2】③は、出願登録期間内であれば、入試広報課で行うことができます。ただし、事務取扱い時間内（9：00～17：00／土曜日・日曜日・祝日を除く）に限ります。

3. 出願手続

次の流れにそって手続を行ってください。出願期間中に「出願登録」から「出願書類の郵送」まで完了してください。

※詳細は、別冊の「インターネット出願利用ガイド」（本学ホームページに掲載）を参照してください。



（１）必要な書類等の準備

出願に必要な書類等は入試区分により異なります。詳細は出願する入試区分のページで確認してください。

- ・一般入試（１期・２期）：６ページ
- ・社会人入試（１期・２期）：９ページ
- ・外国人留学生入試（１期・２期）：１１ページ

（２）出願登録

本学のホームページ（URL <https://www.kankyo-u.ac.jp/>）にアクセスし、「インターネット出願」のページより出願登録を行ってください。

（３）入学検定料の納入

入学検定料 30,000 円を（２）の出願登録時に選択した方法で支払ってください。

（４）出願書類の郵送

入学検定料支払い後にインターネット出願サイト「Post@net」へログインし、公立鳥取環境大学の「出願内容を確認」を選択すると、「入学志願票」をダウンロードできますので、ページの拡大・縮小はせずに A 4 サイズの白紙に印刷（片面）してください。併せて「封筒貼付用宛名シート」もダウンロードし印刷してください。

入学志願票とその他の書類一式を市販の角 2 封筒（A 4 サイズの書類が入る封筒）に入れ、封筒貼付用宛名シートを貼って、簡易書留速達郵便により郵送してください。

【１期】2025 年 8 月 27 日（水）（消印有効）

【２期】2026 年 1 月 20 日（火）（消印有効）

注 1：出願書類に不備のある場合は受け付けることができませんので、十分注意してください。

注 2：出願時に登録した個人情報に変更が生じた場合は、直ちに本学入試広報課へ申し出てください。

注 3：一度提出された書類は返還しませんのでご注意ください。

注 4：郵送状況等により、出願書類の追跡が必要となることがあります。郵送時に郵便局の窓口で受け取る「書留・特定記録郵便物等受領証」にお問い合わせ番号が記載されていますので、大切に保管してください。

なお、出願登録期間中は本学入試広報課への持参も認めます。出願登録、検定料の支払いを済ませ、出願書類一式を取りそろえ下記窓口を持参してください。

【提出先】

〒689-1111

鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号

公立鳥取環境大学 入試広報課 電話：0857-38-6720

※受付時間 午前 9 時から午後 5 時まで

（土曜日・日曜日・祝日を除く）

(5) 受験票の印刷

出願期間終了後、試験日約1週間前までに(2)の出願登録時に登録したメールアドレスに「受験票作成完了メール」が送信されます。メールを受信後、インターネット出願サイト「Post@net」へログインし、「出願内容一覧」より公立鳥取環境大学の「出願内容を確認」を選択すると、「受験票」がダウンロードできますので、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズの白紙に印刷してください。受験票は試験当日に必ず持参してください。

(6) その他

・受験上の配慮を希望する方の出願について

障害、疾病や負傷などで受験上の配慮を希望する場合は、事前に入試広報課へ連絡の上、受験上の配慮申請書(様式は本学ホームページからダウンロード)及び添付書類を出願開始日の2週間前までに提出し相談してください。相談内容によっては検討及び対応に時間を要することがあり、試験当日までに対応できず配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

【注意事項】

- ・配慮事項の検討にあたり、必要に応じて申請書の内容を学内関係者に共有します。
- ・本学が必要と判断した場合は、志願者本人又はその立場を代弁できる家族や学校関係者等に連絡することがあります。
- ・配慮事項について、必ずしも希望が通るとは限りません。
- ・この申請は、受験上の配慮に関することが対象です。修学上の配慮を希望する場合は、入学手続完了後に改めて相談してください。(詳細は入学手続書類で案内します)

【申請書に記載する内容】

- ①志願者の氏名・住所・連絡先電話番号・出身学校等・志望専攻科・入試区分・卒業年月・保護者の情報等
- ②障害や疾病等の種類・程度等
- ③希望する受験上の配慮
- ④出身学校等でとられていた配慮
- ⑤日常生活の状況

【添付書類】

- ①医師の診断書(必須、コピー可)
- ②障害者手帳のコピー(所持している場合)

4. 一般入試

1. 募集人員

研 究 科	専 攻	募集人員	
		1 期	2 期
環境経営研究科	環境学専攻	10名	若干名
	経営学専攻	5 名	若干名
	計	15名	若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者及び 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 専修学校専門課程（修業年限が 4 年以上）を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

なお、上記（6）により出願する場合は、あらかじめ資格審査を実施しますので、各期の出願開始日の 1 ヶ月前までに入試広報課へお問い合わせください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

- 1 期 2025 年 8 月 19 日（火）から 8 月 27 日（水）まで
2 期 2026 年 1 月 9 日（金）から 1 月 20 日（火）まで

(2) 出願書類等

- ① 入学志願票（※ 1）
- ② 顔写真のデータ（※ 2）
出願前 3 ヶ月以内に撮影した志願者本人の顔写真のデータ（正面・無帽・背景無地で肩から上が鮮明に写っているもの、JPEG 方式、100KB 以上 3MB 以下のもの）を出願時にアップロードすること。
- ③ 研究計画書（本学所定の用紙）（※ 3）
所定の欄に、志望する指導教員名を記入すること。（18、19 ページ教員一覧参照）
（※ 4）
- ④ 出身大学等の成績証明書
- ⑤ 出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書

※ 1：入学検定料支払い後にインターネット出願サイト「Post@net」からダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずに A 4 サイズの白紙に印刷してください。

※ 2：詳細はインターネット出願利用ガイドを参照してください。

※ 3：様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

※ 4：指導希望教員とのマッチングのため、出願前に必ず入試広報課に相談してください。
なお、マッチングは原則出願登録期間の開始までに完了させてください。

4. 入学試験実施方法

入学者の選抜は、学力試験得点、面接結果及び出願書類を総合して判定します。

(1) 学力試験

専門科目及び英語の試験を行います。

①専門科目（90 分）

下表から 1 科目選択し解答してください。

なお、科目は出願の際に登録してください。

専門科目

専 攻	科 目 名
環境学専攻	植物生態学、行動生態学、海洋微生物学、水圏生物学、地形・地質学、森林管理学、生物有機化学、土壌学、局地気象学、廃棄物政策学、廃棄物工学、衛生工学、バイオマスエネルギー、環境分析化学、水環境技術、景観プランニング、文化地理学、都市計画学、居住安全学、持続性学、地域計画学、リモートセンシング、生活デザイン、A I
経営学専攻	環境経済、環境評価、計量経済学、ファイナンス、経営管理、経営戦略、マーケティング、流通、管理会計、地域経済、国際経済、東アジア地域、経営史、地域経営、地方行政、地域社会学、インターネット、経営情報システム、A I、数理・データサイエンス

②英語（90 分）

辞書の持ち込みを認めます（1 冊に限る）。ただし、電子辞書の持ち込みは認めません。

(2) 面接

提出された研究計画書及び専門科目試験結果をもとに個別面接を行います。

5. 試験日及び試験会場

(1) 試験日

1 期 2025 年 9 月 11 日（木）

2 期 2026 年 2 月 12 日（木）

(2) 試験会場 公立鳥取環境大学

鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号

6. 試験時間割

科目等	試験時間	備考
専門科目	9:00～10:30	選択登録した 1 科目の記述式試験
英 語	11:00～12:30	辞書持ち込み可 (1 冊に限る。電子辞書は不可。)
面 接	13:30～	1 人約 30 分

7. 合格発表

(1) 合格発表日時

- 1 期 2025 年 9 月 24 日 (水) 午前 11 時
- 2 期 2026 年 2 月 16 日 (月) 午前 11 時

(2) 発表方法

合格発表は下記の方法で行います。

- ① 「合格者受験番号一覧表」を本学ホームページ (<https://www.kankyo-u.ac.jp>) に掲載します。
- ② 合格者には合格発表当日、本人宛で合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所へ郵送します。

5. 社会人入試

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		1 期	2 期
環境経営研究科	環境学専攻	若干名	若干名
	経営学専攻	若干名	若干名
	計	若干名	若干名

2. 出願資格

6 ページの一般入試出願資格のいずれかに該当し、3 年以上の実務経験（家事従事を含む）を有する者。

3. 出願手続

(1) 出願期間

1 期 2025 年 8 月 19 日（火）から 8 月 27 日（水）まで

2 期 2026 年 1 月 9 日（金）から 1 月 20 日（火）まで

(2) 出願書類等

① 入学志願票（※1）

② 顔写真のデータ（※2）

出願前 3 ヶ月以内に撮影した志願者本人の顔写真のデータ（正面・無帽・背景無地で肩から上が鮮明に写っているもの、JPEG 方式、100KB 以上 3MB 以下のもの）を出願時にアップロードすること。

③ 研究計画書（本学所定の用紙）（※3）

所定の欄に、志望する指導教員名を記入すること。（18、19 ページ教員一覧参照）
（※4）

④ 志願理由書（本学所定の用紙）（※3）

⑤ 履歴書（本学所定の用紙）（※3）

⑥ 出身大学等の成績証明書

⑦ 出身大学等の卒業証明書

※1：入学検定料支払い後にインターネット出願サイト「Post@net」からダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずに A4 サイズの白紙に印刷してください。

※2：詳細はインターネット出願利用ガイドを参照してください。

※3：様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

※4：指導希望教員とのマッチングのため、出願前に必ず入試広報課に相談してください。なお、マッチングは原則出願登録期間の開始までに完了させてください。

4. 入学試験実施方法

入学者の選抜は、小論文得点、面接結果及び出願書類を総合して判定します。

(1) 小論文

環境学専攻 環境学に関連する基礎的課題を課します。

経営学専攻 経営学に関連する基礎的課題を課します。

(2) 面接

小論文結果、提出された研究計画書及び社会人としての経験に基づいて試問し、入学後の修学方法についての希望を聴取します。

5. 試験日及び試験会場

(1) 試験日

1 期 2025 年 9 月 11 日 (木)

2 期 2026 年 2 月 12 日 (木)

(2) 試験会場 公立鳥取環境大学

鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号

6. 試験時間割

科目等	試験時間	備考
小論文	9:00～10:30	各専攻の専門に関する課題について論述する。
面接	13:30～	1 人約 30 分

7. 合格発表

(1) 合格発表日時

1 期 2025 年 9 月 24 日 (水) 午前 11 時

2 期 2026 年 2 月 16 日 (月) 午前 11 時

(2) 発表方法

合格発表は下記の方法で行います。

- ① 「合格者受験番号一覧表」を本学ホームページ (<https://www.kankyo-u.ac.jp>) に掲載します。
- ② 合格者には合格発表当日、本人宛で合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所へ郵送します。

6. 外国人留学生入試

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		1 期	2 期
環境経営研究科	環境学専攻	若干名	若干名
	経営学専攻	若干名	若干名
	計	若干名	若干名

2. 出願資格

6 ページの一般入試出願資格のいずれかに該当し、留学の在留資格を取得している者又は入学するまでに留学の在留資格を取得する見込みの者。

3. 出願手続

(1) 出願期間

1 期 2025 年 8 月 19 日（火）から 8 月 27 日（水）まで

2 期 2026 年 1 月 9 日（金）から 1 月 20 日（火）まで

(2) 出願書類等

① 入学志願票（※1）

② 顔写真のデータ（※2）

出願前 3 ヶ月以内に撮影した志願者本人の顔写真のデータ（正面・無帽・背景無地で肩から上が鮮明に写っているもの、JPEG 方式、100KB 以上 3MB 以下のもの）を出願時にアップロードすること。

③ 研究計画書（本学所定の用紙）（※3）

所定の欄に、志望する指導教員名を記入すること。（18、19 ページ教員一覧参照）（※4）

④ 志願理由書（本学所定の用紙）（※3）

⑤ 履歴書（本学所定の用紙）（※3）

⑥ 出身大学等の成績証明書

⑦ 出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書

⑧ 在留カード写し（表・裏）＜日本国内に在留している者のみ＞

⑨ パスポートの写し

※1：入学検定料支払い後にインターネット出願サイト「Post@net」からダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずに A 4 サイズの白紙に印刷してください。

※2：詳細はインターネット出願利用ガイドを参照してください。

※3：様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

※4：指導希望教員とのマッチングのため、出願前に必ず入試広報課に相談してください。なお、マッチングは原則出願登録期間の開始までに完了させてください。

（注）出願書類は日本語で記入してください。

⑥、⑦の証明書のうち、外国語で書かれたものについては、必ず日本語訳を添付してください。なお、翻訳は本人又は知人等の個人が行うのではなく、在籍する日本語学校等に依頼し、翻訳を行った者が分かるように作成してください

4. 入学試験実施方法

入学者の選抜は、学力試験得点、面接結果及び出願書類を総合して判定します。

なお、学力試験、面接ともに日本語で実施します。

(1) 学力試験

専門科目（90 分）の試験を行います。

下表から 1 科目選択し解答してください。

なお、科目は出願の際に登録してください。

専門科目

専 攻	科 目 名
環境学専攻	植物生態学、行動生態学、海洋微生物学、水圏生物学、地形・地質学、森林管理学、生物有機化学、土壌学、局地気象学、廃棄物政策学、廃棄物工学、衛生工学、バイオマスエネルギー、環境分析化学、水環境技術、景観プランニング、文化地理学、都市計画学、居住安全学、持続性学、地域計画学、リモートセンシング、生活デザイン、A I
経営学専攻	環境経済、環境評価、計量経済学、ファイナンス、経営管理、経営戦略、マーケティング、流通、管理会計、地域経済、国際経済、東アジア地域、経営史、地域経営、地方行政、地域社会学、インターネット、経営情報システム、A I、数理・データサイエンス

(2) 面接

提出された研究計画書などに基づいて日本語で試問します。

5. 試験日及び試験会場

(1) 試験日

1 期 2025 年 9 月 11 日（木）

2 期 2026 年 2 月 12 日（木）

(2) 試験会場 公立鳥取環境大学

鳥取市若葉台北一丁目 1 番 1 号

6. 試験時間割

科目等	試験時間	備考
学力試験 （専門）	9:00～10:30	選択登録した 1 科目の記述式試験 （日本語で回答）
面 接	13:30～	1 人約 30 分

7. 合格発表

(1) 合格発表日時

1 期 2025 年 9 月 24 日（水）午前 11 時

2 期 2026 年 2 月 16 日（月）午前 11 時

(2) 発表方法

合格発表は下記の方法で行います。

① 「合格者受験番号一覧表」を本学ホームページ (<https://www.kankyo-u.ac.jp>) に掲載します。

② 合格者には合格発表当日、本人宛で合格通知書及び入学手続書類を出願時に登録した住所へ郵送します。

7. 受験上の注意事項

① 受験票

- (1) 受験票は各自で印刷し、試験当日必ず持参してください。
- (2) 試験当日、受験票を忘れたり紛失した場合は、試験前に係員へ申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。
- (3) 休憩時間等で離席する場合は、受験票を必ず携行してください。

② 試験会場の下見

- (1) 試験会場の場所、交通所要時間等は、試験日前日までに確認しておいてください。
- (2) 会場の下見を行う場合は、建物内に入ることができませんので、建物の場所を確認するだけにとどめてください。

③ 試験会場への入場

- (1) 試験会場へは自動車、二輪車、自転車の乗り入れが可能です（駐輪場、駐車場あり）。送迎時の乗降は、通行の妨げとならないよう、必ず駐車場で行ってください。
なお、駐車場で発生した事故・盗難等について、本学は一切責任を負いません。
- (2) 試験当日は、試験開始 1 時間前から試験室に入室できます。試験開始 15 分前までには必ず入室を終えてください。
- (3) 試験室入室後は、指定された席に着席し、受験票を机上の受験番号札の手前に置いてください。
- (4) 試験開始後 30 分以上遅刻した場合は、受験することができません。
ただし、試験当日、公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により遅刻した場合は、特別措置を講ずることがありますので、ただちに係員へ申し出てください。
- (5) スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器は、試験室に入る前に必ず電源を切っておいてください。また、これらを時計として使用することは認めません。試験中はかばんの中にしまっておいてください。
- (6) 試験会場では、すべて試験監督者及び係員の指示に従ってください。

④ 試験中の注意

- (1) 机の上には、受験票、鉛筆又はシャープペンシル（黒に限る。B 又は HB）、消しゴム、鉛筆削り（小型で手動式のもの）、時計（ウェアラブル端末、辞書や電卓等の機能があるもの又はそれらの機能が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く。）以外のものを置くことはできません。
なお、一般入試受験者は、英語の試験時に限り辞書の持ち込みを認めます。（1 冊に限ります。電子辞書は不可。）
- (2) 試験室に時計はありません。また、筆記用具等の貸し出しは行いません。
- (3) 下敷、定規（定規の機能を備えた筆記用具等を含む）、コンパス、そろばん、電卓、電子辞書、グラフ用紙等の補助具の使用はできません。（一般入試受験者が英語の試験時に使用する辞書は除く。）
- (4) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (5) 試験中、試験監督者に質問等のある場合は、黙って挙手してください。
- (6) 試験中に気分が悪くなった場合は、速やかに試験監督者に申し出てください。
- (7) 試験開始後は、試験が終了するまで退室できません。
- (8) 指定した科目を 1 科目でも受験しなかった場合は失格となります。

⑤不正行為 ※全試験区分共通

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で試験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできません。また、全ての試験を無効とします。
なお、不正行為の状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- 入学志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- 配付された問題用紙等を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 試験開始の指示の前に、問題を見たり解答を始めること。
- 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。なお、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとする。（補聴器など、受験上特別な配慮を必要とするとして本学が事前に認めた場合を除く。）
- 試験終了の指示に従わず、筆記用具を持っていたり、解答を続けること。

（２）上記（１）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、（１）と同様です。

- 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申告をすること。
- 試験場及び試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- 試験場及び試験室において、試験監督者等の指示に従わないこと。
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

⑥ その他の注意

- （１）試験会場では、必要な場所以外には立ち入らないでください。
- （２）付添者は試験会場に入ることはできません。
- （３）試験会場周辺でアンケート調査等があっても、本学とは一切関係がありませんので注意してください。
- （４）公共交通機関や宿泊施設を利用する場合は、時間的に余裕をもった行程で、各自が手配してください。
- （５）ごみは各自が持ち帰ってください（試験会場にはごみ箱がありません）。
- （６）試験室は適温を保つようにしますが、個人差がありますので衣類等で調整できるように準備してください。

8. 入学手続及び入学後の支援制度について

1. 入学手続

(1) 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付します。

合格者は入学手続締切日までに次の手続きを完了してください。

①入学料及びその他諸経費（保険料等）の納入

②入学手続書類の提出

(2) 入学手続締切日（全入試区分共通）

	1 期	2 期
入学手続締切日	2025年10月 6 日（月） <u>必着</u>	2026年 2 月27日（金） <u>必着</u>

※入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

一旦提出された書類及び納入された入学料は、返還しませんのでご注意ください。

(3) 入学料及び授業料

入学料 282,000 円（鳥取県内者又は公立鳥取環境大学からの進学者は 188,000 円）

授業料 535,800 円（半期毎に 267,900 円を納入）

※入学料は初年度のみ納入となります。

※鳥取県内者とは次のいずれかの該当者です。

①入学前年の 4 月 1 日から引き続き鳥取県内に住所を有している者

②入学前年の 4 月 1 日から配偶者または 1 親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している者

③理事長が①または②に掲げる者に準ずると認める者

(4) 納入金の納付方法

合格者へ送付する所定の振込依頼書により、最寄りの銀行、信用金庫等から「電信扱」で振り込んでください。（ゆうちょ銀行からの振り込みはできません。）

(5) 諸費

学生教育研究災害傷害保険、学生教育研究賠償責任保険、学生生活・学外学修交通システム負担金等の諸経費として 13,000 円程度（学友会費・同窓会費を除く）が必要となります。これらの諸経費は入学手続時に納入していただきます。

(6) その他

①入学後、大学指定のノート型パソコン（令和 7 (2025) 年度実績 162,500 円（税込）

2 年間のメーカー保証・動産保険料込）の購入が必要となります。機種及び購入先は本学で指定します。

②入学手続に関する詳細は、入学手続書類の送付時にお知らせしますので、それを熟覧の上、遺漏がないよう手続を行ってください。

③入学手続締切日が土日祝日となる場合があります。郵送や金融機関の状況をご確認いただき、期日までに手続を完了してください。特に、入学料は本学での入金確認をもって納入完了となります。銀行の処理や本学での確認に時間を要することがありますので、遅くとも締切日前の銀行窓口取扱時間内までにご対応ください。

④郵送状況等により、入学手続書類の追跡が必要となることがあります。郵送時に郵便局の窓口で受け取る「書留・特定記録郵便物等受領証」にお問い合わせ番号が記載されていますので、大切に保管してください。

2. 学生支援制度

(1) 入学料免除制度

入試に合格した者で、下記条件を満たし、入学料免除申請書の提出を受け許可したときは、入学料を免除します。

免除額	入学料の免除 (282,000 円又は 188,000 円)
申請基準	次のいずれかに該当する特別な事情により、入学料の納入が著しく困難な場合は、入学料を免除することができる。 (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合 (2) 本人若しくは学資負担者の居住する自宅家屋が、入学前1年以内において、地震、風水害等により全壊、大規模半壊又は半壊した場合 ※入学前1年以内に発生した案件で、災害は指定せず、現に災害に遭い、市町村から罹災証明書が発行され、要件を満たす場合は全て対象とする。

※入学料免除の申請を希望する方は、合格発表の後、速やかに入試広報課に連絡してください。

(2) 授業料減免制度

経済的理由で修学が困難な場合や、学資負担者の死亡、風水害等の入学後の特別な事由により授業料の納付が困難となった場合に、授業料の半額または全額を免除します。
(学力基準、家計基準あり)

(3) 奨学金

日本学生支援機構奨学金

第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）があります。

詳しくは、独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

(URL <http://www.jasso.go.jp/>)

(4) 長期履修制度

職業を有する等の事情により標準修業年限（2年）を超えて4年までの間に計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、長期履修制度を適用することができます。

長期履修生には、3年・4年履修生があり、申請時にどちらかを選択することができます。

この制度の適用を申請し認められた場合、授業料等の学費は、2年分を3年又は4年間で分割納入することになります。

9. 研究科の概要

1. 学位

環境学専攻 修士（環境学）

経営学専攻 修士（経営学）

2. 教育課程表

環境学専攻

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位 数
環境経営 科目共通 群	持続性学特論	1	2
	地域計画学特論	1	2
	環境経済特論	1	2
	環境評価特論	1	2
	環境経営特論	1	2
	AI 特論	1	2
	数理・データサイエンス特論	1	2
自然環境 科目群	植物生態学特論	2	2
	行動生態学特論	1	2
	海洋微生物学特論	1	2
	水圏生物学特論	1	2
	地形・地質学特論	2	2
	森林管理学特論	1	2
	生物有機化学特論	1	2
	土壌学特論	1	2
	局地気象学特論	1	2
	リモートセンシング特論	1	2
資源循環 科目群	廃棄物政策学特論	1	2
	廃棄物工学特論	1	2
	衛生工学特論	1	2
	温暖化対策エネルギー技術特論	1	2
	バイオマスエネルギー特論	2	2
	環境分析化学特論	1	2
	水環境技術特論	1	2
人間環境 科目群	景観プランニング	1	2
	歴史遺産保全特論	1	2
	文化地理学特論	1	2
	都市計画学特論	1	2
	居住安全学特論	2	2
	生活デザイン特論	1	2
	特別演習	1	4
	特別研究	2	4

経営学専攻

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位 数
環境経営 科目共通 群	持続性学特論	1	2
	地域計画学特論	1	2
	環境経済特論	1	2
	環境評価特論	1	2
	環境経営特論	1	2
	AI 特論	1	2
	数理・データサイエンス特論	1	2
企業経営 科目群	計量経済学特論	1	2
	金融特論	1	2
	ファイナンス特論	1	2
	経営管理特論	1	2
	経営戦略特論	1	2
	経営組織特論	1	2
	マーケティング特論	1	2
	流通特論	1	2
	財務会計特論	1	2
	管理会計特論	1	2
	経営法務特論	1	2
	経営統計特論	1	2
	リサーチデザイン特論	1	2
地域経営 科目群	地域経済特論	1	2
	地域分析特論	1	2
	国際経済特論	1	2
	東アジア地域特論	1	2
	経営史特論	1	2
	地域経営特論	1	2
	地方行政特論	1	2
	農業経営特論	1	2
	コミュニティビジネス特論	1	2
	地域社会学特論	1	2
経営情報 科目群	Web サービス特論	1	2
	インターネット特論	1	2
	経営情報システム特論	1	2
	クラウド活用特論	1	2
	要求工学特論	1	2
	プロジェクト・マネジメント特論	1	2
	特別研究 1	1	4
	特別研究 2	2	4

3. 教員一覧

環境学専攻

	職位	氏名	担当科目・専門
	教授	張 漢賢	担当科目：都市計画学特論、特別演習、特別研究 専門：都市計画学、人間居住論
	教授	荒田 鉄二	担当科目：持続性学特論、特別演習、特別研究 専門：環境保護学、環境文明論
	教授	根本 昌彦	担当科目：森林管理学特論、特別演習、特別研究 専門：森林資源管理学
	教授	吉永 郁生	担当科目：海洋微生物学特論、特別演習、特別研究 専門：海洋微生物学、水圏微生物生態学
	教授	笠木 哲也	担当科目：植物生態学特論、特別演習、特別研究 専門：植物生態学、送粉生態学
	教授	中治 弘行	担当科目：居住安全学特論、特別演習、特別研究 専門：建築構造、耐震構造、木質構造
	教授	金 相烈	担当科目：廃棄物工学特論、バイオマスエネルギー特論、特別演習、特別研究 専門：廃棄物工学
★	准教授	松井 徹	担当科目：温暖化対策エネルギー技術特論 専門：再生可能エネルギー、バイオマスエネルギー変換
	准教授	門木 秀幸	担当科目：廃棄物政策学特論、特別演習、特別研究 専門：環境分析、廃棄物、リサイクル工学
	准教授	老田 智美	担当科目：生活デザイン特論、特別演習、特別研究 専門：建築計画、福祉のまちづくり、建築ユニバーサルデザイン
	准教授	加藤 禎久	担当科目：景観プランニング、特別演習、特別研究 専門：緑地計画学、エコロジカル・プランニング、グリーンインフラ
	准教授	太田 太郎	担当科目：水圏生物学特論、特別演習、特別研究 専門：魚類生態学、水産資源生物学、漁業制度及び漁業法令
	准教授	山本 敦史	担当科目：環境分析化学特論、特別演習、特別研究 専門：環境化学、分析化学
	准教授	戸荻 丈仁	担当科目：水環境技術特論、特別演習、特別研究 専門：水処理、汚泥処理、水質保全、下水道工学
	准教授	柚洞 一央	担当科目：文化地理学特論、特別演習、特別研究 専門：地理学、ジオパーク、ジオツーリズム、地域づくり
	准教授	佐藤 伸	担当科目：生物有機化学特論、バイオマスエネルギー特論、特別演習、特別研究 専門：生物有機化学、微生物生化学、木質化学
	准教授	角野 貴信	担当科目：土壌学特論、特別演習、特別研究 専門：土壌学、生態系生態学、生物地球科学
	准教授	堀 磨伊也	担当科目：AI 特論、特別演習、特別研究 専門：パターン認識・機械学習
	准教授	佐川 龍之	担当科目：リモートセンシング特論、特別演習、特別研究 専門：地球観測学、
	准教授	徳田 悠希	担当科目：地形・地質学特論、特別演習、特別研究 専門：地質学、古生物学
	准教授	甲田 紫乃	担当科目：衛生工学特論、特別演習、特別研究 専門：エネルギー化学、グループ・ダイナミクス、環境社会心理学
	准教授	重田 祥範	担当科目：局地気象学特論、特別演習、特別研究 専門：局地気象学、生気象学、自然地理学
	准教授	山口 創	担当科目：地域計画学特論、特別演習、特別研究 専門：農村計画学、農業経営学
	講師	谷口 晴香	担当科目：行動生態学特論、特別演習、特別研究 専門：霊長類学、動物行動学、生態人類学

修士課程では指導教員からの研究指導を受けます。（特別演習（1年次）、特別研究（2年次））

★印がついている教員は指導が受けられない教員です。

指導を志望する教員を選択し、研究計画書の所定の欄に記入してください。

なお、指導希望教員については、出願する前に入試広報課と相談してください。

経営学専攻

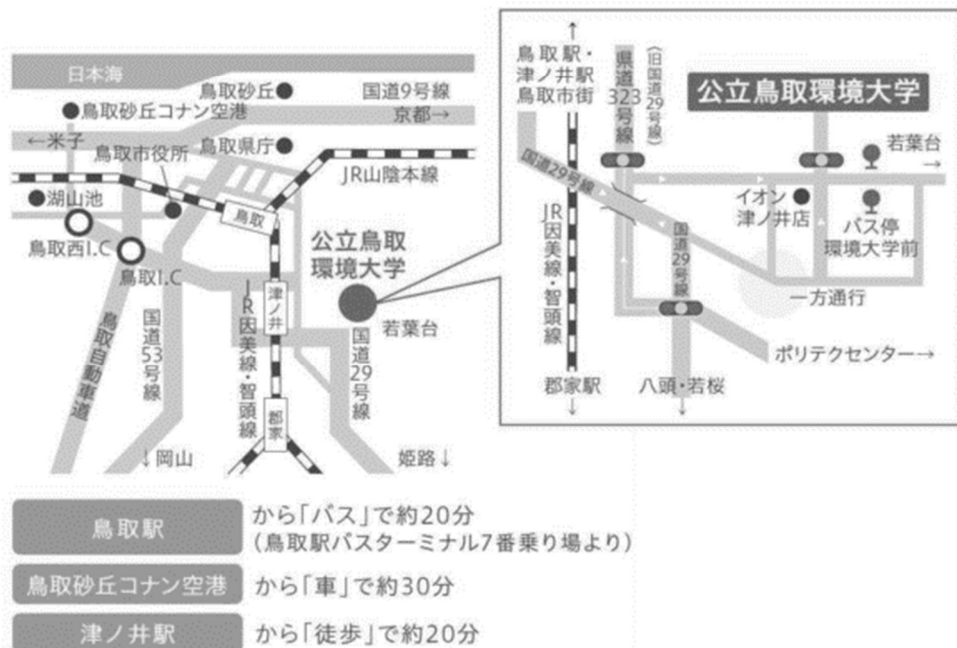
	職位	氏名	担当科目・専門
	教授	吉田 高文	担当科目：ファイナンス特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：経営財務論、企業経済論
	教授	今井 正和	担当科目：Web サービス特論、インターネット特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：情報の収集と蓄積、可視化
	教授	齊藤 明紀	担当科目：経営情報システム特論、クラウド活用特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：教育工学、分散システム運用技術
	教授	磯野 誠	担当科目：マーケティング特論、リサーチデザイン特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：マーケティング、新製品開発、ブランド、デザイン
	教授	石川 真澄	担当科目：環境経済特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：公共政策、経済政策、環境経済
	教授	相川 泰	担当科目：東アジア地域特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：東アジア国際関係、民間非営利環境協力
	教授	西村 教子	担当科目：計量経済学特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：人口経済学、経済開発論
	教授	光山 博敏	担当科目：経営戦略特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：技術経営、経営戦略
	教授	兪 成華	担当科目：経営管理特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：人的資源管理論、国際経営論
	准教授	谷口 謙次	担当科目：経営史特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：経営史、経済史
	准教授	連 宜萍	担当科目：国際経済特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：国際経済、経済発展論、多国籍企業
	准教授	倉持 裕彌	担当科目：コミュニティビジネス特論、地域社会学特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：地域社会学、まちづくり論
	准教授	山口 和宏	担当科目：地域経営特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：地域経営論 地域振興論 農業経済学
	准教授	堀 磨伊也	担当科目：AI 特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：パターン認識・機械学習
	准教授	川崎 紘宗	担当科目：管理会計特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：管理会計、予算管理、会計史
	准教授	高井 亨	担当科目：環境評価特論、経営統計特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：環境経済学、社会工学
	准教授	下境 芳典	担当科目：地方行政特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：非営利組織論、公共経営論、地域政策論
	准教授	久保 奨	担当科目：数理・データサイエンス特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：オペレーションズ・リサーチ、応用数学、統計学
	准教授	竹内 由佳	担当科目：流通特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：マーケティング、消費者行動、流通
	准教授	佐藤 彩子	担当科目：地域経済特論、特別研究 1、特別研究 2 専 門：経済地理学、地域経済学

修士課程では指導教員からの研究指導を受けます。（特別研究 1（1 年次）、特別研究 2（2 年次））

指導を志望する教員を選択し、研究計画書の所定の欄に記入してください。

なお、指導希望教員については、出願する前に必ず入試広報課に相談してください。

本学へのアクセス



Tottori University of Environmental Studies

環境経営研究科修士課程：環境学専攻・経営学専攻

入試広報課 〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号

FAX 0857-38-6709

URL <https://www.kankyo-u.ac.jp>

入試に関する
問い合わせ先